

制度の狭間の課題を見つける・つなぐ・支える 社会福祉協議会のCSWとPS事業



豊中市社会福祉協議会
勝 部 麗 子

1,豊中市の現状

● 人口	395,982
● 高齢化率	22,0%
● 自治会の組織率	47,4%
● 校区福祉委員会	38校区
● 65歳以上単独世帯数	26,782
● ひとり暮らし登録	5,606
● 災害時安否確認事業 登録	6,288

2,豊中市社協の経緯

昭和58年	法人格取得
昭和62年	賛助会費導入 *福祉のまちづくり講座、給食サービス
平成 4年	校区ボランティア部会設置事業 福祉作業所連絡会...なかまの店
平成 7年	阪神淡路大震災
平成 8年	小地域福祉ネットワーク活動
平成13年	介護相談員派遣事業
平成15年	こころのボランティア講座・ちょボラサロンへ
平成16年	地域福祉計画を市と協働で作成 福祉なんでも相談窓口を各校区に設置 *地域福祉ネットワーク会議、CSW配置
平成18年	運営推進会議へ参画
平成21年	福祉公社と統合 地域福祉権利擁護センター地域福祉活動支援センター 安心生活創造事業
平成23年	パーソナル・サポート事業

平成7年 1 月17日

阪神・淡路大震災小地域ネットワーク 本格化



3, 校区福祉委員会活動

校区福祉委員会とは…

概ね小学校区単位に結成された住民のボランティア組織

(豊中市では38校区福祉委員会／41小学校)



校区福祉委員会活動 その2

個別援助活動・・・見守り・声かけ活動・個別支援

グループ援助活動・・・ふれあいサロン

世代間交流・ミニデイサービス

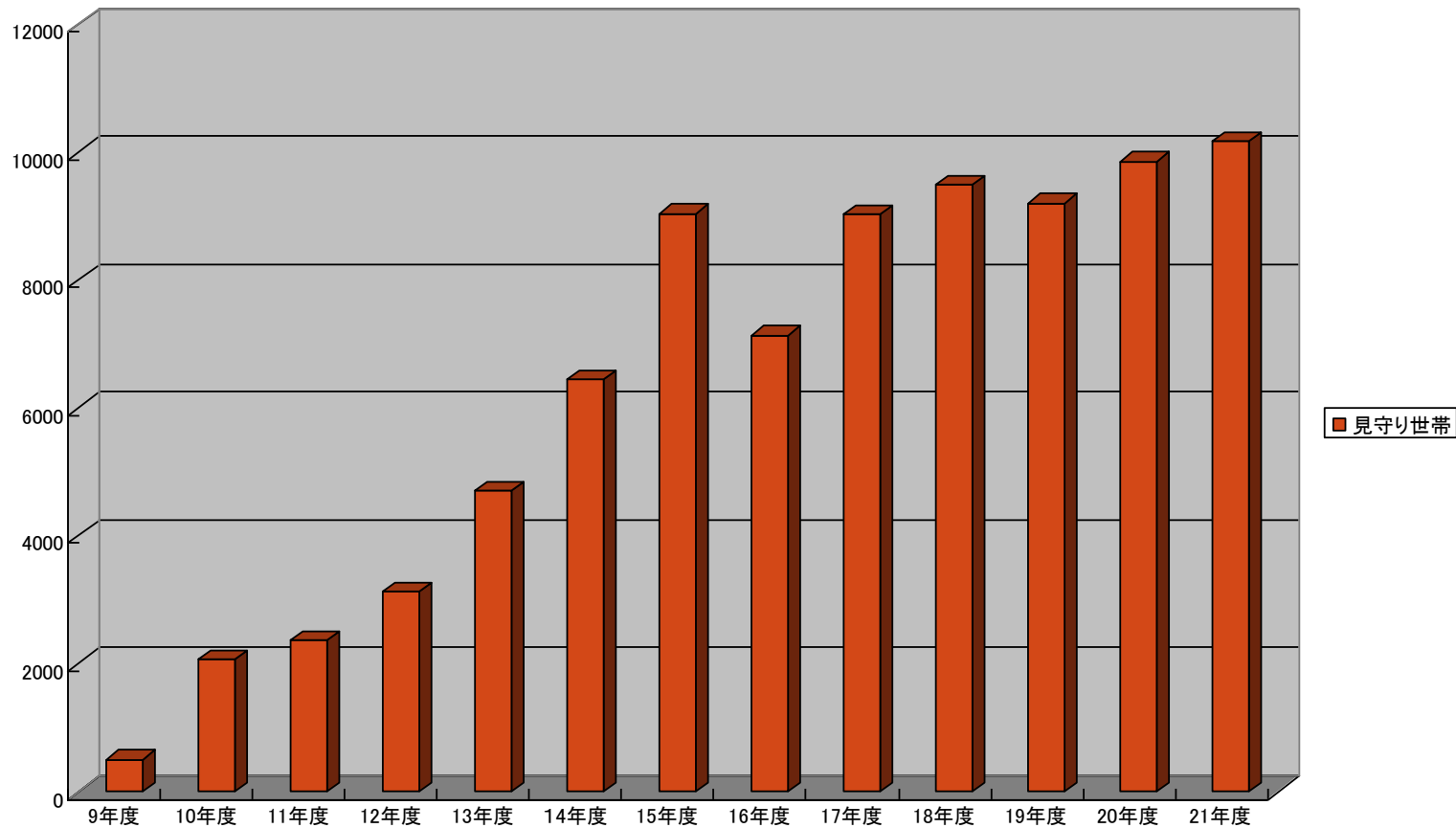
会食会・子育てサロン

その他・・・災害時の安否確認事業

子どもの安心安全見守り活動

福祉なんでも相談窓口

見守り世帯は12000世帯に



校区福祉委員会活動 その3

- 福祉なんでも相談窓口（小学校区ごとに設置）
- ・ 身近な福祉相談の実施と専門機関への取次ぎ
 - ・ 地域住民が集う、交流ふれ合いの拠点
 - ・ 福祉サービスに関する情報、ボランティア情報、地域福祉活動情報の受発信
 - ・ 概ね週1回、2時間開設



4, 福祉なんでも相談窓口の意義

福祉なんでも相談は地域活動や

日常のつながりからニーズを掘り起こす相談窓口

・・・待ってるだけでは入ってこない

対象は

①本人からSOSは入ってこない

②制度で対応できない課題

③本人が課題整理できていない

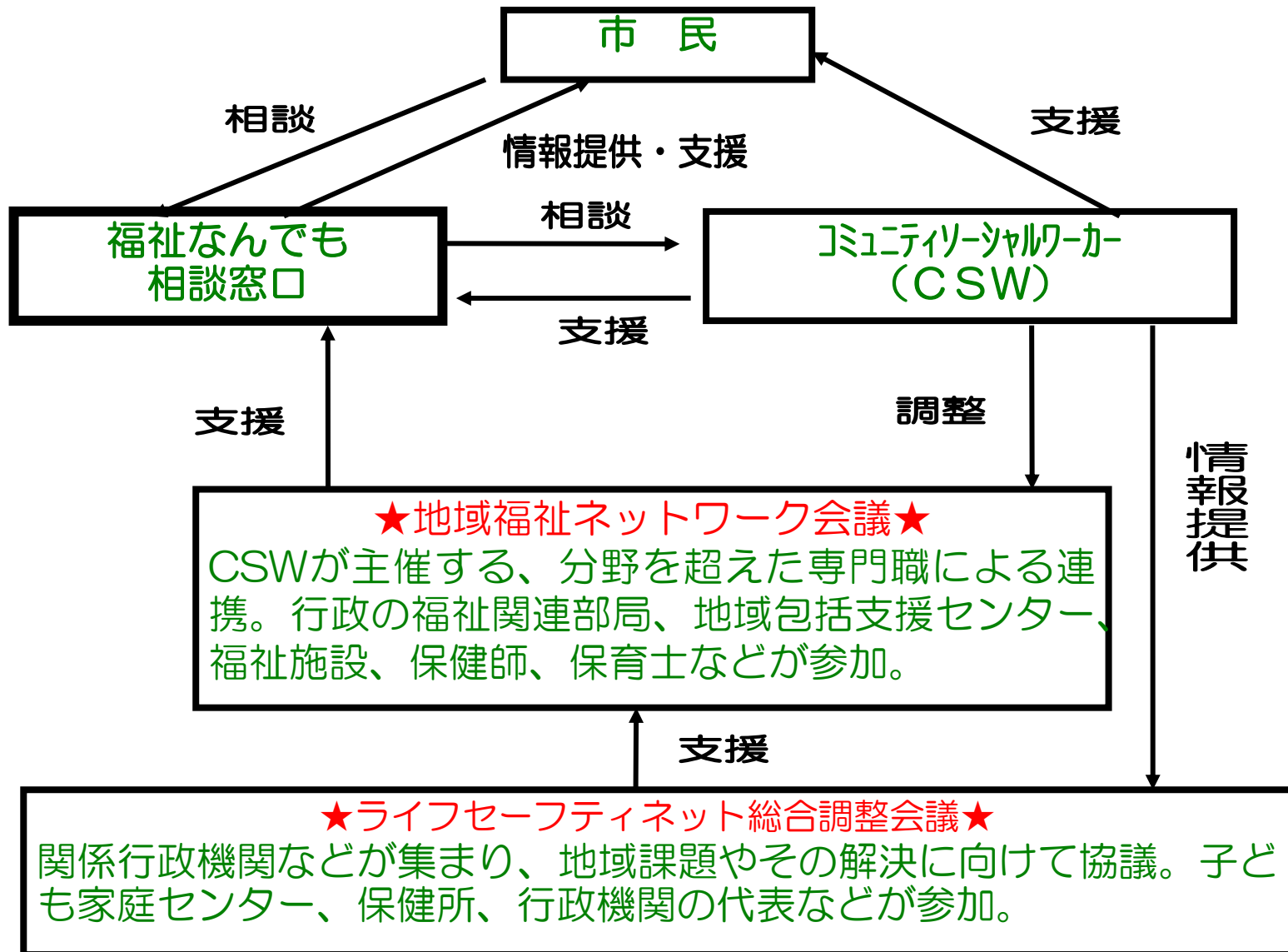
④制度のことを知らない

...地域とのつながりのない人を支えにくい

5, 安心生活創造事業ひとり暮らし応援事業者による見守り緊急時の対応の仕組み



豊中ライフセーフティネットの仕組み



コミュニティソーシャルワーカーの 取り組み

相談者

本人・地域住民・民生委員など
関係機関職員
行政担当課、保育所・施設など
福祉なんでも相談窓口

相談

CSW

調整

問題解決

公民による支援のコーディネート
行政制度でサポート
ボランティアによる支援
校区活動による支援
困難事例についてはケース検討会



大阪府の定めるCSW
養成講座を修了しています



コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の役割は？

- 福祉なんでも相談窓口のバックアップ
 - ・社会的援護を要する人々への対応
 - ・複数機関の連携による支援が必要なケース
 - ・公民協働でのサポートが必要なケース
 - ・地域との関係調整が必要なケース
- 地域福祉ネットワーク会議の運営
- 地域福祉計画の支援
- セーフティネットの体制づくり
- 要援護者に対する見守り・相談

5, コミュニティソーシャルワーカーの 取り組み 個別支援から仕組みづくり

○協働プロジェクト

- ・福祉ゴミ処理プロジェクト
大量ごみの処理についてのルール化を図る
- ・徘徊SOSメールプロジェクト
携帯電話を使っのまちぐるみのネットワーク
- ・各種交流会の開催 同じ立場の介護者をつなぐ
 - ・高次脳機能障害者家族交流会&自主グループ化
 - ・広汎性発達障害者の家族交流会&自主グループ化
 - ・男性家族介護者交流の集い
 - ・若い家族介護者の交流会
- ・8カ国語の地域福祉ガイドの作成

事例1 若年性認知症

若年性認知症の母親の徘徊について相談

実際に孫を連れて徘徊する

若い介護者の集い

校区ミニデイに誘う

プロジェクト会議

子育て・介護情報提供

本人ボランティア

徘徊SOSメール

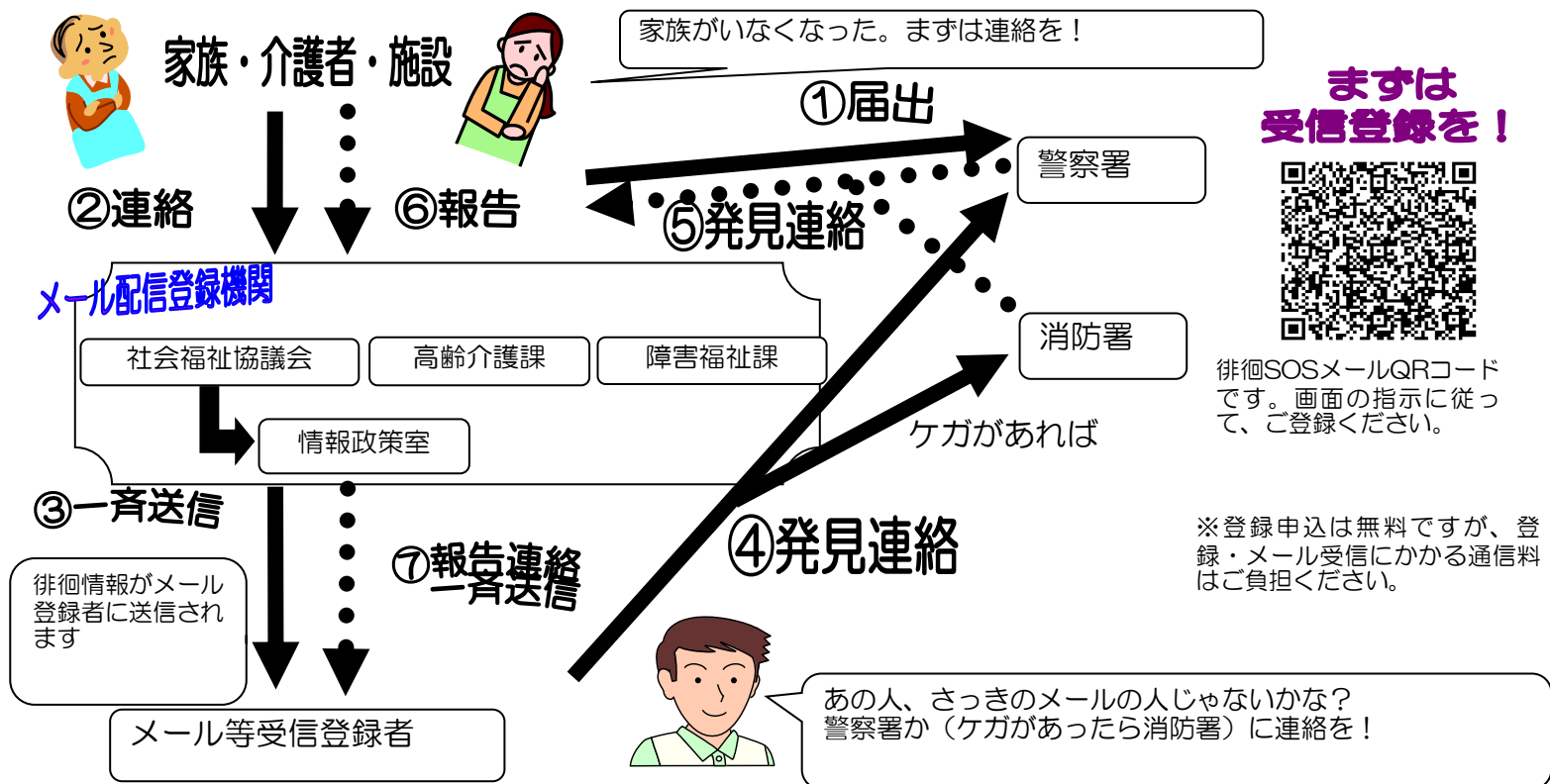
孫赤ちゃんボランティア

キャラバンメイト受講

サービス利用

コミュニティソーシャルワーカーの 取り組み

○徘徊SOSメール



事例 2 「ごみ屋敷」 支援

福祉なんでも相談窓口で地域から相談



高齢者、精神障害者、引きこもりなどさまざまな世帯



家庭訪問(本人の心に寄り添う)



家のかたづけ



サービス導入



つながり作り



啓発

支援のルール化

ゴミ屋敷リセットプロジェクト



6, 豊中市社協のCSWとPS事業の連携

入口 CSWと連携したPS支援

- 福祉何でも相談窓口からのニーズキャッチ
 - 当事者組織からの相談
 - 関係機関からの相談
 - 本人との信頼関係ができるまでの横断的支援
- 本人からSOSを出せない・出さない掘り起こしの相談が行える
- 制度の狭間の課題を抱える相談が日常的に入る
- 参考 福祉何でも相談500件／年
CSW相談 2000件／年
- ここからPS案件をアセスメントする

7, P S 支援が有効なケース

P S 支援が有効なケース

- ・ 自己判断経験が少ないケース
- ・ 接触困難ケース（何度も足を運ぶ）
- ・ サービスがないまたは地域とのかかわりが困難
- ・ 人との関わりが弱い（何度も人が変わると困難）
- ・ 課題が大きすぎて横断的な関わりがないと本人が動けないケース
- ・ サービス拒否・障害受容困難



多くの人生の転機と命を支える 65 ケース
ひきこもり、ホームレス、リストラ、生活困窮など

8, 豊中の事務局体制

- 体制 CSW 14人 日常生活圏域に二名ずつ
CPS 1人、PS 1人（CSWと兼務）、APS 6人
- カンファレンスでケース共有をしながら複数の職員が対応できる体制を作る
- PS連絡会 1／2Wのモニタリング
- 事例検討会（スーパーバイズ）1／1M
- 訪問時の報告・助言
- ケース会議（必要に応じて）
- 外部研修、内部研修
- パーソナルサポーター運営協議会連絡会開催
支援の姿勢

本人側に立ちきる、地域、行政との通訳者

9, P S 支援の展開

- アウトリーチ
- 個別支援（自己決定を支える・支持・課題整理
やりたいこと探し、制度紹介）
- 代弁的機能（本人の言いたいことをまとめる）
- サービス補完機能（既存制度がない場合の自立支援）
- モニタリング（見守り・定期訪問）
- エンパワメント（交流会・当事者組織）
- 危機介入
- 専門相談につなぐ（弁護士・医師）

10, 就労歩目指した出口づくり

- ひとりひとりのオーダーメイドの就労支援
一般就労、中間就労、本人発の仕事づくり
就労プログラム、就労体験
- 社会関係づくり
居場所づくり、関係づくり、ボランティア体験
仲間作り、地域活動参加
- 制度紹介 地域就労プログラム
- 情報提供 研修会など
- ソーシャルアクション（プログラム開発）

事例 3 被災者支援

震災で豊中へ転居



公営住宅へ入居手続き



巡回相談・物資支援を行う



何もすることがない・農業がしたいと涙ぐむ



家族交流会



冊子づくり



農地探し



農地提供 農業指導

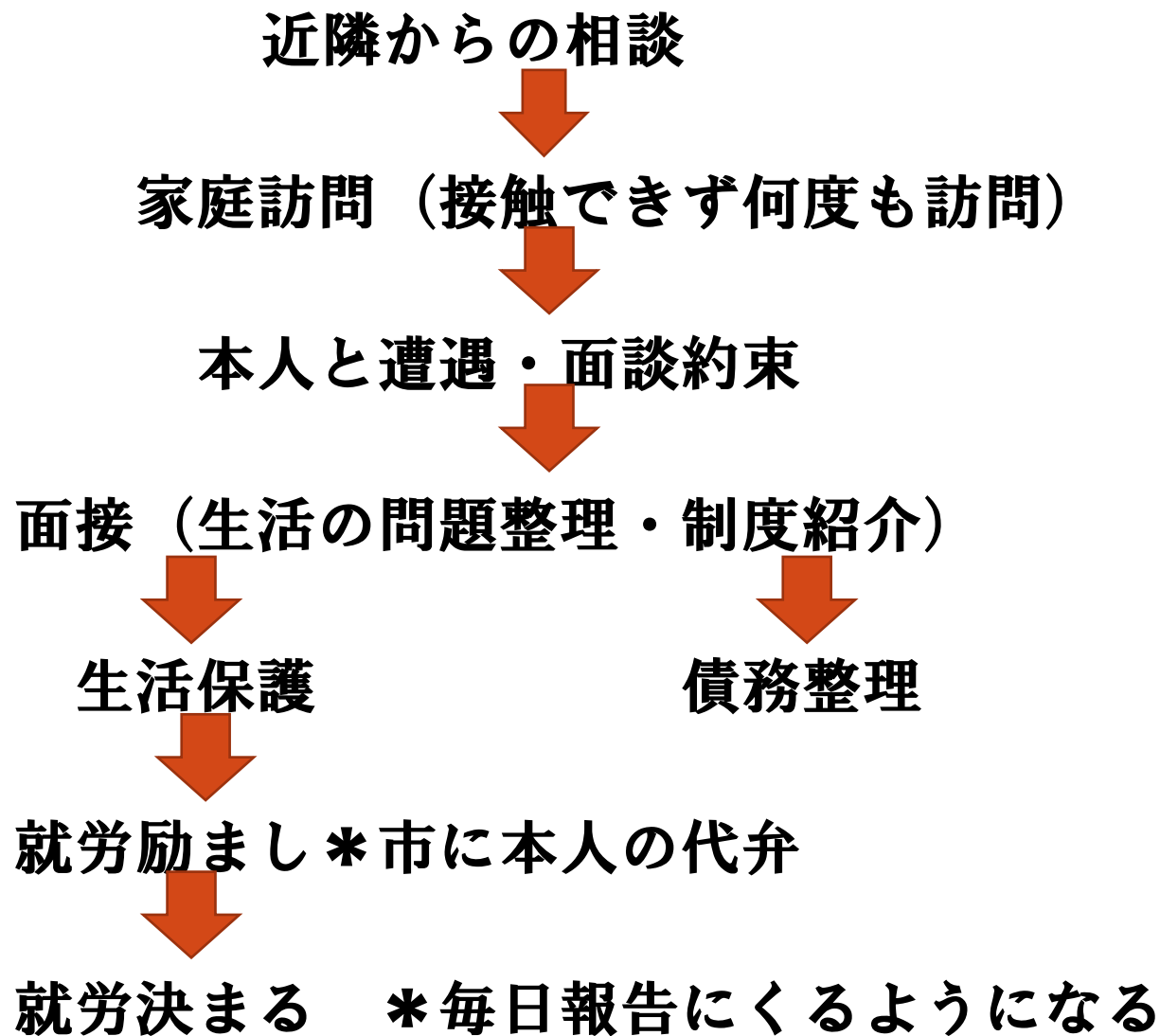


地域情報提供



就労

事例 4 リストラ・生活破綻



事例 5 ホームレス

地域の方からの連絡



公園への巡回相談＊雨の日・雪の日



サービス拒否・支援拒否



本人の希望により添い支援約束



生活保護申請（再度ためらう）



家探し

＊民生委員



生活用品選び

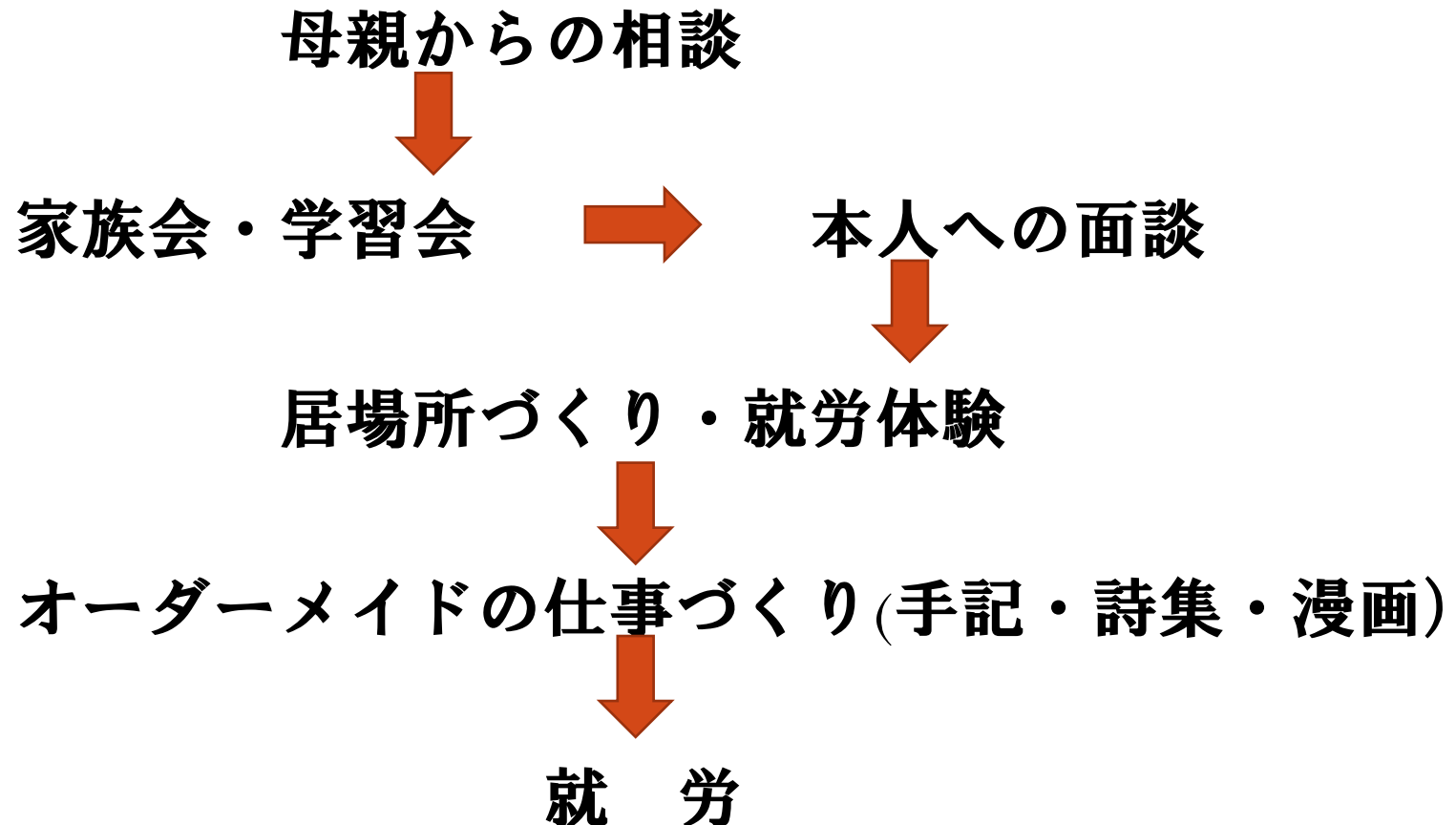
＊カレーライス



在宅生活スタート

日中活動支援 居場所づくり

事例 6 ひきこもり



プログラム進捗状況（手作り）

- ・詩集の発行・・・製本して出版
12・17から販売開始
Takaya 作「僕と僕らのための詩」



※

家)が

その後、新作も届く

～びーのニュースに掲載

<1月23日～2月5日の予定> am:10:00～12:00 pm:13:30～15:30

月	火	水	木	金	土	日
23日 園芸 を野原の 世話	24日 pm 外出企画 メンバーさんと 海蔵館に行き ます	25日 手作り 1. 1772 新設中地区 仮設中、ゆづり 手紙	26日 2. 1772 仮設中、ゆづり 手紙	27日 3. 1772 仮設中、ゆづり 手紙	28日 4. 1772 仮設中、ゆづり 手紙	29日 5. 1772 仮設中、ゆづり 手紙
pm 休診	pm 休診	pm 休診	pm 休診	pm 休診	pm 休診	pm 休診
30日 園芸 を野原の世話	31日 パソコン 会館で 作業も進めます	1日 手作り 1. 1772 仮設中、ゆづり 手紙	2日 2. 1772 仮設中、ゆづり 手紙	3日 3. 1772 仮設中、ゆづり 手紙	4日 4. 1772 仮設中、ゆづり 手紙	5日 5. 1772 仮設中、ゆづり 手紙
pm 休診	pm プリー	pm プリー	pm プリー	pm 休診	pm 休診	pm 休診

ねふだ 値札 Takaya作

人の命は尊いなんて言っても
みんな値札を付けられて
陳列棚に並べられる
何の価値もない僕は
ゴミ捨て場に置かれるだけ
風船より軽い僕の命
誰も救ってくれはしない
ゴータマ・ブッダも
イエス・キリストも
きれいごとばかり並べている
僕が欲しいのは怖い死
生きるのが怖いくせに
死ぬのはもっと怖いから
眠るように死ねばいいのに

2012年度のカレンダー
メンバーさん運身の作です！
好評発売中！

Bi-no Calendar 2012

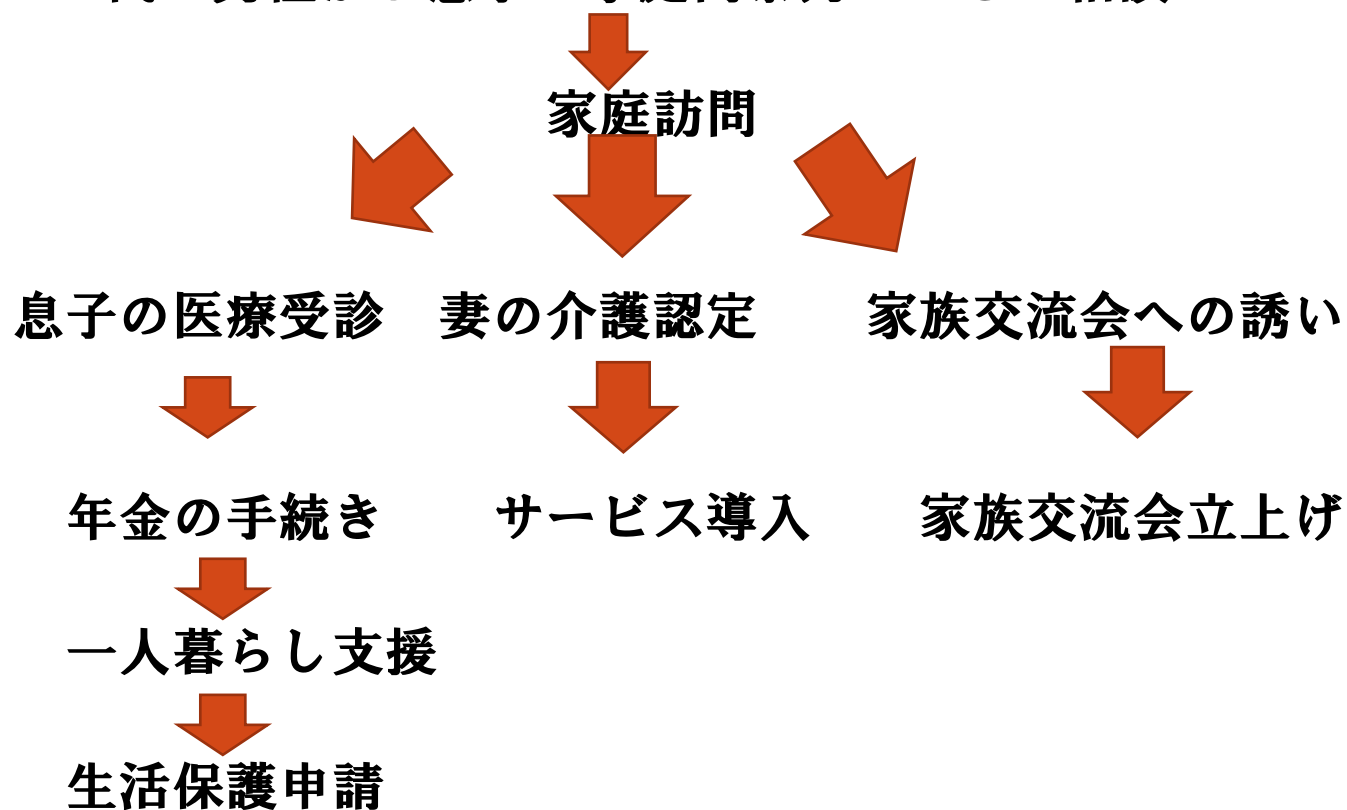
プログラム進捗状況（手作り）

- ・福祉マンガの発行
コミュニティソーシャル
ワーカーの役割や仕事
を紹介する漫画を作成
3月発行予定



事例7 30年のひきこもり支援

80代の男性から息子の家庭内暴力のことで相談



P S の効果

P S 支援が有効なケース

- ・ 自己判断経験が少ないケース
- ・ 接触困難ケース（何度も足を運ぶ）
- ・ サービスがないまたは地域とのかかわりが困難
- ・ 人との関わりが弱い（何度も人が変わると困難）
- ・ 課題が大きすぎて横断的な関わりがないと本人が動けないケース
- ・ サービス拒否・障害受容困難



多くの人生の転機と命を支える 65 ケース

P S 事業今後の課題

- P S 支援の質は、支援者の力量が左右
 - 事務局体制や P S プランづくりが大切
- ・ 社会的包摂を進めるためには地域住民への働きかけが必要 ... C S W との連携
 - ボランティア P S の必要性
- ・ 半年の実践で多くの人生の転機に出会う
 - セーフティネットを支える事業として
全国展開必要

社協の強み

制度の狭間の課題を地域力で発見し、支える

- 地域のつながりこそソーシャルキャピタル

100歳以上の高齢者・熱中症対策

- 公・民協働で支えることの意味
- 支援はサービス提供とともにつながり作り
- 社会的孤立を防ぐ新たな仕組みを生み出す
- 社会的援護を要する課題を地域が学ぶ
- ソーシャルインクルージョン

⇒これらをコーディネートするCSW